東日本大震災避難者健康調査事業

看護師　溝邉　真由実

平成２６年１０月１４日から１１月１４日まで、避難者健康調査事業で福島県いわき市に派遣されました。東日本大震災の福島第一原子力発電所事故後、多くの方々がいわき市内で避難生活を送っています。役場がいわき市とは別の場所に仮設されているため行政サービスが十分にいきわたらず、また、借り上げ住宅にお住まいの方々は住民同士が集う場も少なく、孤立しやすい状態となっています。避難所生活を送る方々に適切な保健医療サービスや必要なケアが提供されるためには、健康状態の把握が大切です。

いわき市では、避難者宅に戸別に訪問し聞き取り調査を行いました。「話を聞いてもらえてよかった」「来てもらえてよかった」との町民の皆さんの反応が自分にとっての励みになると同時に、誰かと話すということが町民の皆さんにとってとても重要なことだと感じました。

避難されている方と一緒に健康体操を行っています